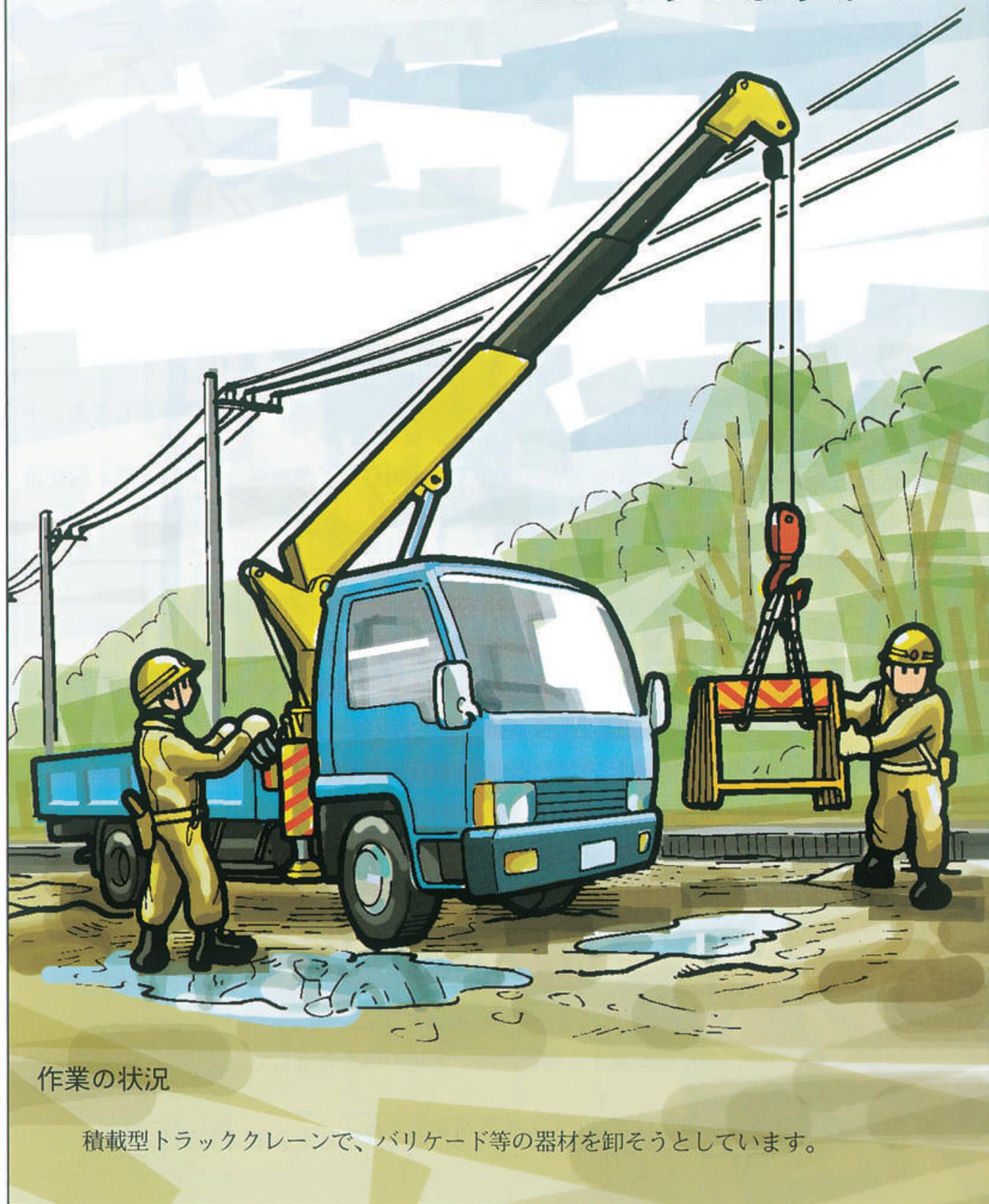


建設業 K Y T シート

No.11 積載型トラッククレーンでの荷卸し作業

どんな危険がありますか？

あなたならどうしますか？



作業の状況

積載型トラッククレーンで、バリケード等の器材を卸そうとしています。

建設業労働災害防止協会

整理番号	11	業種	造園工事	作業の種類	荷卸し作業	災害の種類	感電・はさまれ 転倒・飛来落下
1 作業状況							
積載型トラッククレーンでの荷卸し作業							
2 予想される危険							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 架空電線に接近してクレーンを操作しているが、架空電線に防護管を装着していないので、感電する。 2. アウトリガーを張り出していないので、転倒しはさまれる。 3. 積載型トラッククレーンの停車位置に、凹凸があり、アウトリガーを張り出しても、十分な効果が得られないので、転倒する。 4. クレーンのフックに、はずれ止めがないので、玉掛けワイヤーロープがはずれ、荷が落下し、あたる。 							
3 安全対策・事前処置							関係条文
<ol style="list-style-type: none"> 1. 架空電線に接近して、クレーンを操作しないようにする。やむを得ない時には、防護管を装着する。 なお、ブーム等が電線に接触しなくとも、安全な離隔距離（2m）を越えると通電するので、注意すること。 2. アウトリガーは両側とも最大に張り出す。 3. アウトリガーの張り出す箇所は、平坦で十分な強度のあるところとする。 軟弱な地盤等の箇所では、地盤改良をし、敷鉄板・敷板等を使用する。 クレーンを荷卸しのため停車する場合には、上記の事を考慮して停車するようにする。 4. クレーンのフックには、はずれ止めの装置を装着する。 							安衛則第336条 クレーン則第66条の3 クレーン則第70条の5